

防災士 藏本博幸の

# 防災術 お届け便



HIROYUKI KURAMOTO



1972年、3月生まれ  
2014年4月、白糠郵便局長として着任。  
2017年1月に防災士に認定。妻と娘との3人暮らし。趣味は読書。好きな食べ物  
は「柳だこの珍味」と日本酒

No.6

## 災害時、 ペットはどうする？

### ○避難所でのペットの扱い

9月12日、白糠学園で防災学習が行われました。5〜7年生が災害時に避難所を運営することを想定した「避難所運営ゲーム(HUG・ハグ)」を行い、避難所開設から被災者の受け入れをどのようにするかを考えました。その中で必ず判断に迷うのが「ペットをどうするか？」です。

環境省ではペットとの同行避難を推奨していますが、東日本大震災のときはあまり認知されておらず、災害後に多くのペットが行方不明になったり、保護したペットの飼い主が見つからずに対応に苦慮した事例がありました。また、避難所でペットが受け入れられない場合や、受け入れ

が可能であってもペットの性格や普段のしつけ方によって、周りとの軋轢が生じることもありました。

国内では、約2割の世帯がペット(犬・猫)を飼っていますが、苦手な人やアレルギーのある人もいます。避難所という公共の空間では、周りとの軋轢を生まないためにも飼い主にはさまざまな配慮が求められます。

- まずは飼っているペットの性格や行動をしっかり把握し、避難所での生活が可能かを確認してみましょう。
- ・クレートや簡易ケージで過ごせませ
- ・呼び戻しができますか
- ・いつもと違う食器で食事ができませ
- ・ペットシートで排泄ができますか

### ○避難所生活が不安な場合

- ・知らない人やさまざまな音に慣れることができませ
- ・ペット用の避難持出袋は用意して
- ・必要な物の例
- ・水、ペットフード7日分
- ・排泄物の処理用品
- ・予備の首輪とリード
- ・持ち運べる折りたたみ式のケージ

避難所内でペットとの生活が不安な場合は、持ち運びができる一人用のテントを犬小屋代わりにすることも一つの方法です。その場合の避難所は、避難所の外(グラウンド)や安全が確保できる公園になりますので、事前の確認が大切です。ただし、厳冬期の場合、寒さに弱い種は寒さ対策が必要になります。

### ○迷子にならない対策

避難時でペットとはぐれたり、避難所から逃げ出して迷子になる場合があります。

昨年6月から犬や猫に飼い主を特定するマイクロチップ装着が販売業者に義務付けられましたが、それよ

### ○我が家のペット

りも前から飼われている場合は装着されていない場合が多いと思いますので、獣医師に相談して装着したり、首輪に迷子札を付けたりしましょう。

我が家にも柴犬がおり、すでに家族の一員です。自分の命を守ることが優先ですが、ペットの命を守れるのは家族しかいません。今回のテーマは環境省のホームページに掲載の「災害時におけるペット救護対策ガイドライン」を参考にしていきます。飼い主さんは一度ご覧になってください。

